

「一人じゃない」。  
ここで働き、学んだこと



切れた糸は、手作業で繋いでいく

高校3年の夏、職場見学での光景を今でも鮮明に覚えている。広い工場内に並んだ機械が、瞬く間に羊毛を1本の糸へと変えていく。

「この細い糸が生地を作る」。そう考えると、心が躍った。幼いころからファッションに興味があり、服飾に関する仕事に就きたいと思っていたからだ。

羊毛を用いた衣料繊維で国内シェア1位を誇るわが社。ここで作られた糸が、全国の学生服の6割、県内の8割の生産を支えている。もちろん、私の母校の制服も。そう考えると、身が引き締まる。

入社当初は、1台20mの長さの精紡機を4台担当。襟玉しのたまのセットや糸つなぎがうまくいかず、作業が追い付かない。「自分の持ち場」という責任感から、一人でやりきろうとしたが、広い工場内を走りまわるだけで精一杯だった。

そんな時、上司から教わったのは、「人に頼ること」。以来、職場でのコミュニケーションに努め、報告や確認を徹底し



## 山川世梨香

2018年入社。  
休日には、「学びの森」でのんびりすることも。国内旅行が趣味。

日本毛織株式会社

【業種】製造業(毛織物製品)

509-0141  
各務原市鷺沼各務原町8-7

<https://www.nikke.co.jp/>



た。次第に仕事にも慣れ、周りを見る余裕もできた。何より大きかったのが、「責任感を持つことは、一人でやりきることではない」と気付けたことだ。

4月からは、後輩も増える。彼らも「人じゃない」と伝えたい。きつと誰かが見ていてくれるから、失敗を恐れず前に進んでほしい。私がそうだったように。